

第3回：社寺の逸話・伝説

村岡の寺社について

村岡7か村の幕末の世帯数は約160戸でした。これに対しお寺の数は廃寺2ヶ寺も含めて11ヶ寺ありました。平均15戸で1ヶ寺の割合です。また渡内には3ヶ寺もありましたが、各村とお寺の垣根はなかったようです。お寺のない村もありました。また神社は各村にはそれぞれの鎮守があり、平成20年に始まった村岡七福神めぐりはそれと重なります。

先ず神社ですが、すでに前回の武者と関係する社寺が出てきましたが、今回は七福神巡りのつもりで廻ろうと思います。古い時代の神社から廻りますが村岡を開発したと言われる村岡五郎平良文が勧請したとされる神社が3社あります。

1番が総鎮守の宮前御霊神社で、境内に芭蕉の句碑があり『梅が香に のつと日の出る山路かな』。市内に五基ある一つです。明治の初め宮司さんが指導をしていました。

2番が川名御霊神社 毎年九月のお祭には、市文化財の「川名屋台ばやし」が奉納され、「鎌倉権五郎景政」の人形山車が巡航されます。別当は真言宗大勝寺でしたが廃寺となりました。

3番が渡内日枝神社 境内に区画整理で集められた石仏が沢山あり、中に鎌倉と長谷への分かれ道にあった道標があります。福原家が管理し、今回の話題とさせていただきます。以上が平良文勧請と云われ、創建は平安時代中期になります。

4. 柄沢神社 もと第六天社と呼ばれ、源頼朝が参拝したという古い神社です。石仏が多く、中でも大国さんの石仏は他では見られません。

（柄沢神社と日枝神社はいずれも地域一帯が最近開発整備されています。）

5. 小塚荒神神社 祭神を奥津彦神といひの神ですが、仏教では三宝荒神と言われます。鎌倉時代末期、名主の夢に荒神のお告げがあり、裏山にある3本の大樹の處に祠を建てたといひます。由来が灯籠に委しく書かれています。

6. 高谷大神宮 祭神は天照皇大神です。江戸時代の初め頃に祀られました。

これで七福神は六つです、立派な御影石の像が祀られています。あと一つは弥勒寺地区で、神社がなく弥勒寺の旧本尊を祀った弥勒堂を鎮守としています。

次はお寺に行きます。曹洞宗が4ヶ寺、日蓮宗が3ヶ寺、真言宗が2ヶ寺、浄土宗が2ヶ寺です。

1. 弥勒寺 もともと奈良時代の高僧、行基作の弥勒菩薩像が祀られていたと云います。そして鎌倉時代、北条氏3代泰時が父の義時を供養するため、夢のお告げでここに臨濟宗の法泉寺をたてました。新田義貞鎌倉攻めで火をかけられた時、本尊を井戸の中に避難させたと言われ、今も井戸があります。後に日蓮宗の僧が再建し宗派も寺の名も変りました。明治時代には小学校がここで始まりました。

2. 法善寺 弥勒寺地区にあります。ここも鎌倉時代北条氏8代時宗の創建ですが、当時の宗派は不明です。小田原北条氏時代日蓮宗となりました。そしてここも一時、小学校とされています。

3. 神光寺 川名にあります。真言宗で、創建は小田原北条氏初期の頃です。明治維新のころ隣にあった真言宗の大勝寺が火事となり合併しています。その大勝寺の本尊の虚空蔵菩薩

は藤沢最古の平安時代の仏像とも云われ、市の文化財になっています。

4. **天嶽院** 渡内にあります。江戸時代御朱印30石をもらった曹洞宗の大きなお寺です。小田原北条氏が創建し、天嶽とは北条早雲の法名で、開基とされています。お堂は七堂伽藍を完備し禅宗寺院の模範とされます。初代の虚堂玄白は大庭宗賢院も開きました。古くはお不動さんが祀られ源頼朝も祈願に訪れたと言われます。晩秋、参道の紅葉がすてきです。

5. **二伝寺** 渡内にある浄土宗です。ここも福原家に関係し次回としますが、江戸時代の高僧幡随意白道上人は善行で生まれ、ここで僧になりました。聖観音像が文化財となっています。裏山から二伝寺砦の跡とみられる発掘がありました。

6. **慈眼寺** 渡内にある曹洞宗で、玉縄城主の創建です。本尊十一面観音は秘仏で申年の11月だけ御開帳され、市の文化財です。江戸時代の鎌倉郡第三十三番札所の結番霊場です。近所に観音坂・観音上など地名があります。3種の木の根が絡んだ混成樹は、開発で170mも移動された市の天然記念物第1号です。(慈眼とは観音様の事のようにです。)

7. **弥陀堂跡** 高谷にありますが二伝寺の管理でした。明治で廃寺になり、残されたのは多くの石仏だけです。

8. **徳寿院跡** 曹洞宗で、宮前御霊神社の境内にあり別当寺でしたが明治初めに廃寺になりました。

天嶽院の隠居寺とも言われ、立派なお寺で建物が藤沢の感応院の庫裏となったと言われます。

9. **長福寺** 高谷にある曹洞宗です。長らく無住でしたが、玉縄龍宝寺の計らいで再興されました。もう30年になります。

10. **隆昌院** 柄沢にある日蓮宗ですが鬼子母神として多くの信仰を集めました。ラフカディオ・ハーンも寄って感動しています。開山は赤穂浪士奥田孫太郎の子息と云うことです。

駆け足でしたが、廃寺も含め一回り、村岡のお寺の半分は時の政権が開基となった、藤沢では珍しいところです。それだけ村岡は重要な地域であったと云えるのかもしれませんが。